

「子供たちの活躍が光ってきています」

夏休み明けに開いた夏休み作品展には、たくさんの力作が並んでいました。夏休みに取り組んだことは、大人になってからも覚えているものです。作品づくりや自由研究に取り組んだ経験そのものが、一人一人の糧になっていると思います。その夏休みの自由研究を一挙に展示する柏市科学展が、15日と16日に行われました。本校からは、22点の作品を出展し、柏市での金賞を3作品、銀賞を2作品、合計5作品が入賞しました。大規模校ではない本校が5点も入賞するのは驚いておりますが、子供たちの意欲と保護者の支援があつてのことと思います。出展作品の詳細はHPに掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、16日に開催された東関東吹奏楽コンクールで、本校吹奏楽部は金賞を受賞し、東日本吹奏楽コンクールに2年連続で出場が決定しました。一人一人が力を発揮し、全員の音が本当に一体となったよい演奏ができました。保護者、地域の皆様に感謝をいたします。

「主体的な態度を育てるために 選択する場面を作っていきます」

これからの学校教育では主低的な態度を育てると言われています。

主体的・積極的・自発的・能動的など、似たような言葉があります。誰かに言われなくても行動することを主体的ととらえがちですが、実は積極的や自発的の範囲なのです。

主体的な態度というのは、自分で目標や目的を持って、それに向かって自分の意志や判断に基づいて行動するという姿なのです。

例えば普通の勉強も、学習課題は先生が出すのではなく、自分で勉強する課題を見つけてその解決に向けて、自分なりに計画を立てて実行していく、というようになります。

小学生段階では無理な面が多いですが、総合的な学習の時間や校外学習では実施が可能と考えて、主体性を引き出すために、「選ぶ」という活動を入れるように、先生方に取り組みの工夫を考えてもらっています。

子供なりに活動の目的を明らかにするために、自分で選んで、選んだことを最後までやり抜くことを繰り返すことで、主体的な態度を育てていきたいと考えています。

先週実施した2年生の校外学習では、アンデルセン公園での製作物をキャンドルづくりと写真たてづくりから選んで活動をしました。

今週実施する林間学校では、最高峰登山コースと湿地自然観察コースの2コースを用意して、登山コースは体力入山テストを実施し登りきる準備を、観察コースは事前の調べ学習を入念に行うというように、学校でできない自然体験も選択をして、選択したコースに応じて取組内容も異なって準備を進めています。

来週実施する修学旅行では、「テーマ自然」の中で3か所異なる場所の滝を見学に行きます。見学した滝の様子を教科の学習に生かしていくという予定になっています。

時代の流れは、「みんな一緒」から「一人一人それぞれ」になっています。一人一人それぞれということは、自分勝手にするというのではなく、同じ場所や同じ時間を共に過ごしながらも、自分なりの目的をしっかりと持って活動して、その結果は自分だけのものではなく、他の人のためにもなるようにしていくことが、よりよい社会を創っていくことになると考えています。主体的な態度を育てるという難しい課題に向けて、東小では「選択」を一つのキーワードにしています。

明日からの林間学校の様子は、HPで実況中継?をしまいにあります。ご覧ください。

